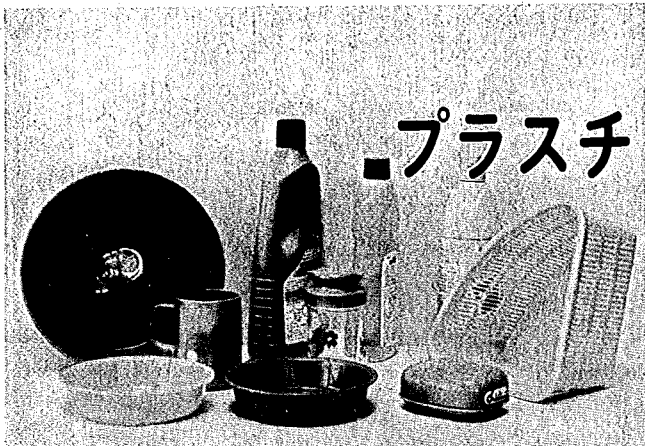


プラスチックの話



日常生活のさまざまな分野に利用されているプラスチック製品

プラスチックは、食品や台所用器具、文房具、機械部品などいたるところに使われており、私たちの日常生活にとつて、欠くことのできないものになっています。ひとくちにプラスチックといっても、スチロール、ポリエチレン、メラミンなど多くの種類があつて、酸や熱に対する性質もそれぞれ違います。プラスチックに関する知識を豊かにし、使用目的に合ったものを選び、正しく使いたいものです。

暮らしの中に生かして

現在はプラスチックの種類も増えており、用途によって使い分ける必要がありますが、一般的には次のようなことに注意してください。
◆高温に注意

法定品質表示(例)

原料樹脂	スチロール樹脂	耐熱温度	70度	耐冷温度	-30度
容量	950ml				

取扱上の注意
●火のそばに置くことと変化する場合があります。
●洗剤水を入れてはいけません。
●たわしや腐砂でこすると、きずがつくことがあります。

品質表示
PI-0000
全日本プラスチック成形工業連合会

ポリエチレンやスチロールは熱に弱いので、熱いものを入れたりすると変形したり、ヒビ割れします。

◆日用品の容器を食品容器に転用することは危険
洗剤の入っていたバケツに漬物をつけたり、ゴミ袋を食品の保存に使うことは避けま

◆みがき粉やかたいタワシは禁物
プラスチック製品の表面は意外に柔らかく、キズがつきやすいものです。

◆酸やアルコール、油類の長期保存は避けて
樹脂が侵され、添加剤などが溶け出すことも考えられます。

品質表示を目安に

プラスチック製品には、それがどんな樹脂でできていて、どのような性質をもっている

かを示す表示や、公的または自主的な検査にパスしたことを証明する表示などがあつています。左はその一部ですが、プラスチック製品を買うときは、表示を参考にして希望にあった製品を選びましょう。

品質表示
プラスチックの加工品には、その品質を表示することが法律で定められています。それが品質表示です。洗面器、たらい、バケツ、ペーパーバス、水筒、食器、台所用用品など家庭で使われる大部分のプラスチック製品にこの表示がつけられ、製品に使われているプラスチックの種類、耐熱温度、取扱ひ上の注意などが記入されています。表示の中には番号がついていますが、この番号はメーカーを表わしていますので、もし不良品があれば、どのメーカーのものかすぐわかります。

JHPマーク
JHPマーク
PLマーク
JHPマーク
協働衛生協議会(JH)

PJが、食品の包装、容器に使用する材質、添加剤等について自主的に規格を設け、これに合格したものにつけているマークです。

PLマーク
ポリオレフィン等衛生協議会が、食品の包装容器に使用するポリエチレン、ポリプロピレン、ポリスチレン等の樹脂について自主規格を設け、これに合格したのものにつけて

いるマークです。プリンカップ、サラダオイルの容器などについています。

全日本プラスチック成形工業連合会が、衛生基準または耐熱、耐冷など許可条件に合った家庭用プラスチック製品につけるマークです。

衛生安全マーク
日本プラスチック日用品工業組合が、衛生基準または品質基準に合った家庭用プラスチック製品につけるマークです。

衛生安全マーク
衛生安全マーク

衛生安全マーク
衛生安全マーク

衛生安全マーク
衛生安全マーク

衛生安全マーク
衛生安全マーク

衛生安全マーク
衛生安全マーク

衛生安全マーク
衛生安全マーク

衛生安全マーク
衛生安全マーク

衛生安全マーク
衛生安全マーク

衛生安全マーク
衛生安全マーク

衛生安全マーク
衛生安全マーク

衛生安全マーク
衛生安全マーク

